

阿南市体育優秀者（体育・スポーツ活動において、特に優秀な成果をおさめた者）

- ・昭和60年度 富岡東高等学校 ^{かんの}神野 ^{やすお}安朗（阿南市福井町出身）

戦績

- ・昭和59年6月15～16日 小松島高校体育館
四国高校選手権大会 個人戦 シングルス 優勝
- ・昭和59年8月20～29日
全国中・高校生選抜強化合宿中国研修合宿に参加者
- ・昭和59年12月26日
全国高校選抜大会 四国予選 シングルス 優勝
- ・昭和60年3月29～30日 石川県立体育館
全国高校選抜大会 個人戦 シングルス 第8位
- ・昭和60年6月15～16日 小松島高校
四国高校選手権大会 個人戦 シングルス 優勝



～富岡東高校発行の校誌『唐梅』第9号昭和59年度版より抜粋～

異国での貴重な体験 全国選抜強化合宿 2 - 7 神野 安朗

僕は、秋田で行われたインターハイ参加後、八月二十日より二十九日まで、「全国中・高校生選抜、中国研修合宿」に、全国総勢三五名の一員として参加した。

八月二十日、九時成田空港を出発、上海に到着。参加する前から、知らないプレーヤーと一緒に、言葉も通じない初めての海外へ行くというので、とても不安だったが、すぐに友達になれたのでホッとした。一日の練習内容は次の通りであった。六時起床。散歩、ランニング、体操、食事。八時三十分～十一時フットワーク、中国体操、基礎トレ。昼食、自由時間。十五時～十七時ダブルス、シングルス練習。食事。地元の人達との交流、ミーティング。十時就寝。

実際の練習は六日間であったが、初めての練習の日、日本の他のプレーヤーと試合をし、おしくも二連敗をして、とても悔しい思いをすると同時に、全国には強い選手がたくさんいると改めて思った。

練習内容は、男女別々の体育館で、一グループ五名に、中国のコーチがアドバイスをしてくれるという方法だった。初めは、言葉が通じないので大丈夫かなと心配したが、コーチの身振りや手振りや、顔の表情などで言いたいことが分かり、練習に打ち込めたと思う。毎日ハードスケジュールで、無駄のない練習メニューが組まれ、スムーズに実施されたので非常に疲れはしたが、世界のトップに行く中国の新しい練習方法、フットワークなど、「なるほどなあ」と思うような内容だったので、時間がたつのがとても早く感じた。それと同時に、すばらしい環境、指導者に恵まれて練習が出来る中国の選手が、うらやましく思われた。

この六日間、上海、廈門、 州と、場所を移動しながら、練習以外に、観光とか、地元の人々との交流、親善試合などいろいろな行動があり、とても忙しく充実した日々手合った。

でも、毎日昼食後三時間ゆとりの時間があった。この時間は、本もテレビも何もなく、体を休めながら全国各地のプレーヤーとバドミントンについて雑談をし、その中から得ることが多かったように思われた。

この十日間、見ることも聞くことが初めてだったので感動のしどおしだった。特に食事の時間などは楽しみの時間で、初日はかなり食べにくかったがすぐに慣れてしまい、自分も順応性があるのだなあと感じた。

最後になったが、中国の合宿で学んだ、バドミントンに取り組む姿勢、練習方法などを、日常の練習に生かすとともに、一つのスポーツを通じての国際的な場での貴重な経験を、これからの生活に役立てていきたいと思う。漳

～富岡東高校発行の校誌『唐梅』第10号昭和60年度版より抜粋～

全国高校選抜大会 3月29～30日 石川県立体育館

個人戦 シングルス 一回戦 神野 2 - 0 桑原(帯広)

準々決勝 神野 0 - 2 生井沢(上尾)

選抜大会に参加して、一番思った事は、全国には本当に恐ろしいくらい強い奴がいるって事でした。選抜大会は、インターハイとは違って、四国大会に優勝しなければ出場ができないという事です。だから出場選手は少ないけど、まさに全国のトップクラスばかりでの大会なのです。初戦は北海道代表との戦いでした。この北海道代表とは、一度中国遠征に行った時一度試合をして負けていたけど、夏からこの選抜にむけ猛練習をしていたので負けるとは思いませんでした。そして練習の成果がでて2 - 0で勝ち、ベスト8進出。

次の相手が、関東代表第一シード優勝候補ナンバー1との戦い。やはり強く、結果は、あわやラブゲームという、悲惨な結果に終わってしまいました。今までこんなボロチョンで負けた事がなかったので、腹も立ちませんでした。でも、選抜大会に参加でき、自分にとって本当にプラスになったと思います。 神野 安朗

～昭和60年6月17日徳島新聞掲載記事より抜粋～

四国高校選手権大会 昭和60年6月15～16日 小松島高校

個人戦 シングルス

準々決勝 神野(富岡東) 2 - 0 古川(高松西)

岩崎(徳島商) 2 - 0 谷(土佐)

準決勝 神野(富岡東) 2 - 1 岩崎(徳島商)

決勝	神野(富岡東)	2	$\left. \begin{array}{l} 15 - 7 \\ 15 - 0 \end{array} \right\}$	0	一宮(高松西)

センス抜群の王者

小松島高校体育館で行われた男子個人シングルスは全国選抜大会でベスト8に残った神野安朗選手(富岡東)が実力通り優勝した。決勝戦の相手一宮康夫(高松西高・香川一位)を楽々とストレートで下した。試合後「第1シードだっただけにプレッシャーもあり、ホッとしました」と安心した表情。神野は昨年八月に中国遠征を経験。「フットワーク、羽に対する入り方をコーチしてもらった」というそのテクニックと阿南市福井中時代バレーのセッターを務めていたというバネは他の選手の追従を許さず観客の目を引きつけた。神崎祥治監督は「センスは抜群。どんな状況でも冷静なのがいい」と優勝杯を手にした神野を温かい目で見守る。

高校以降の戦績

昭和63年10月 全日本学生選手権 複ベスト8(日本大学3年)

昭和63年12月 全日本総合選手権 複ベスト8(日本大学3年)

平成元年9月 関東学生秋季リーグ戦 優勝 MVP(日本大学4年主将)

平成元年10月 全日本学生選手権 団体準優勝 単・複ベスト8(日本大学4年)

平成元年12月 全日本総合選手権 複ベスト8(日本大学4年)

平成3年10月 第四六回国民体育大会出場(石川県)

平成4年10月 第四七回国民体育大会出場(山形県)

平成5年10月 第四八回国民体育大会出場(香川県)

}

軽やかなステップで好レシーブを見せる神野
 第48回東四国国体 香川県 坂出市立体育館

